

# がっこう 応援便り



復興支援号

澤穂希さんインタビュー

特集：子ども心のケア

NEWS：「夢みる防災教育」

.....  
2011 秋  
.....



# がっこう 応援便り CONTENTS

巻頭インタビュー ..... 3

澤穂希さん

「どんなに辛く苦しくとも  
力を合わせ乗り越えよう！」

コラム

がっこう応援NEWS ..... 4

復興へ向けての  
夢みる防災教育

特集

子どもの心のケア ..... 5

授業の中で取り入れる

ストレスマネジメント ..... 6

ストレスマネジメント法の

授業を体験してみよう ..... 8

今すぐ役立つおすすめ情報 ..... 12

社会応援ネットワークから ..... 15



巻頭インタビュー

## どんなに辛く苦しくとも 力を合わせ乗り越えよう！

女子サッカー日本代表  
「なでしこジャパン」キャプテン

澤穂希さん

澤穂希さん

1978年9月6日東京都府中市生まれ。6歳のときに兄の影響でサッカーをはじめ。オリンピックを3度、ワールドカップを5度経験し、先のドイツワールドカップでは、キャプテンとして日本を初優勝に導く。

今回の震災で、私たちが普段通りにサッカーをしていられることが、どんなに幸せで、ありがたいことを思い知りました。W杯の際には、被災地のみなさんからたくさんのお声をいただきましたが、好きなことをやっている私たちが「勇気をもった」「感動をもらった」と声をかけてもらえるなんて。感謝しなくてはいけないのは私たちの方です。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

夏前に、東北の知り合いの方から、こんな話を聞かされました。被災後は、とてもサッカーをやる状況ではなかったから、娘が「もうサッカーは辞める！」と言い出して、そんな時に、なでしこの頑張っている姿を見て、やっぱりもう一回やりたいと言いだす。

たと。そんな風に、私たちがサッカーをやることで、少しでも被災地の方のモチベーションをあげる手助けができるのなら、すごく嬉しいです。被災地のみなさんは今も本当にしんどいと思います。頑張っているみなさんにこれ以上頑張るとは言いづらいですが、何とかこの状況を地域のみんなで力を合わせて乗り越えてほしいです。

「なでしこジャパン」も、ワールドカップ準々決勝や決勝の相手であるドイツやアメリカには、それまで一度も勝ったことがありませんでしたが、チーム一丸となって立ち向かうことで勝利を収めることができました。

厳しい時間帯もありましたが、チームメイトがきつとサポートしてくれる、自分も

んなをカバーするぞ、という気持ちで試合に臨んでいました。W杯の優勝は、一人でできないこともみんなで力を合わせれば乗り越えられることを証明してくれたと思っています。

実は、北京オリンピックが終わった後、引退しようかなと考えていた時期もありました。でも、メダルを目前にして負けたことで、「あと一歩でメダルがもらえるところまで来たんだ。もっとやりたい！」と欲が出てきたんです。今は、あの時辞めなくてよかったと心から思います。あの悔しさをバネにできたからこそ、今の自分があると思っています。これからも、まだまだ現役にこだわってプレーを続けますよ！

課題があるとすれば、日本の女子サッカーの底上げ、普及です。今でも、中学校には女子サッカーチームがほとんど無い状況ですからね。私も頑張りますから、被災地のみなさんも、苦しいこと、時期を乗り越えた先には、明るい未来があると信じて、頑張ってください！



# がっこう 応援 NEWS

## 復興へ向けての 夢みる防災教育

誰もが遭遇する可能性のある自然災害。その脅威にどう備え、どう対応するのか。復興を見据えたこれからの防災教育のあり方を、「防災教育」の最前線にいる諏訪清二先生に聞きました。



**諏訪清二先生**  
すわ・せいじ / 1982年から兵庫県内の高校英語教諭として勤める。2000年、兵庫県立舞子高校にて環境防災科設置のための研究をスタート。2002年の環境防災科が設立されると同時に、環境防災科長に就任。以後、防災教育を専門に行う。



「防災教育」と聞くと、みなさんが真っ先に思い浮かべるのは避難訓練だと思います。少し広げても、自然災害に備える防災知識や技術の習得と捉える人がほとんどでしょう。私が提唱してきた「防災教育」とは、被災時において、「サバイバー」となるだけではなく「サポーター」にもなり得るものであること。そして、そのために日常生活の中で非日常である災害に対応する力を育くむというものです。つまり、どんな時も自分で情報を集め、自分の頭で考え、判断できる人間を育てることこそが「防災教育」であるという捉え方です。



被災地の中学校で「防災教育」を伝える諏訪先生と、聞き入る生徒たち。

では、実際にこれまでの日本の防災教育はどうかというと、「ハウツー」重視でした。しかし、マニュアル作りや「想定内」の避難訓練を繰り返しているだけでは、甚大な災害時には人の命や地域を救えないことが今回の震災ではつきりしました。

一方で、日頃の体験学習の中で、避難所まで歩いたり、地域の言い伝えを学んだりしていた子どもたちが、自らの判断で指定避難所よりも高台に逃げて全員無事だったという

ことがあります。また、地震発生直後から、お年寄りに制服の上着を貸すことから始まって、避難所となった校舎で毛布や食料を配り、地域支援の中心的存在を果たした中・高校生の話も見聞きしました。いずれも臨機応変に判断し、行動に移すことができた例だろうと思います。

つた今、市民としての自分たちに何ができるのかを子どもと共に考えるのも防災教育です。例えば、「復興計画」として子どもたち自身に「自分の住みたい町」を想像させ、語らせるのもいいですね。

私は防災教育が、人や社会が希望や理想を実現していくきっかけになればと考えています。いわば、「夢みる防災教育」です。

### 特集

# 子ども の心のケア

私と一緒に  
いろいろな授業例を  
見ていきましょう！



震災後、子どもたちに表れたさまざまな変化にどのように接していけばよいのか？  
今回の特集は、学校でできる「心のケア」のヒント集です。

### 東

日本大震災から、半年が過ぎました。地域によって復興の速度は違いますが、学校や家庭の状況が「日常」に戻るにつれ、子どもたちには災害からもたらされる新たなストレス反応が出現します。子どもたちが抱える様々な悩みやストレスに対処するための、知識や取り組みが必要です。

この特集では、学校で実践できるストレスマネジメント法をご紹介します。信頼関係の中で「これならできる」と感じることから少しずつ行っていくようにしましょう。震災後は、安心・安全な楽しい思い出を作ることが、勉強への意欲や集中力の増加につながります。

教職員のみならず子どもたちの笑顔から元気をもらい、子どもたちと共に一歩ずつ前に進んでいきましょう。

# 授業の中で取り入れる ストレスマネジメント

子どもたちにとって、授業は「日常生活」を取り戻す大切な時間。普段行う授業そのものが、工夫次第でストレスマネジメントにつながります。ここでは、『日常生活・災害ストレスマネジメント教育』（竹中晃二・富永良喜共編）の中から、授業の中で実践が可能なストレスマネジメントをいくつか抜粋してご紹介します。

## 国語



### ◆習字リレー

**ねらい** 発散、表現力、協力、協調

大きな紙に大きな字を書く、一画ずつ人を変えて習字リレーを行う

### ◆町づくり案の発表

**ねらい** 想像力、希望

どんな町にしたいかについて短い作文を書いて発表する

### ◆大声での音読

**ねらい** 発散、

**アクティベーション**

詩の朗読や暗唱をいつもより大きな声で行う

## 算数



### ◆簡単な

**買い物ごっこ**

**ねらい** 楽しみ、想像力、計算能力

海外に行ったと仮定し、決められた品物について現地の通貨で換算して簡単な買い物ごっこをする

### ◆踊りを用いた

**足し算、引き算、かけ算**

**ねらい** 楽しみ、発散、計算能力

踊りやシャドー縄跳びなどを体を動かすこと、計算を結びつける※ただし、子どもは興奮するので、授業の最後に行うほうがよい。

## 理科



### ◆アロマテラピーの体験

**ねらい** リラクゼーション

香りを用いてリラクゼーション効果を感じ、合わせて臭器官の働きも学ぶ※毎回異なる香りを使用する。また、2つ3つの香りやその効果を比較させる。

### ◆森林浴、温泉の効果

**ねらい** リラクゼーション、健康

森林浴、温泉浴の効果を学び、体験できる地域の施設や自然の場所をみつける

### ◆地震・津波についての正しい知識

**ねらい** 危機管理・安全教育

地震・津波についての正しい知識を学び、根拠のないうわさ話に惑わされないようにする

## 音楽

### ◆校歌の成り立ち

**ねらい** 尊敬、愛校心

校歌作成時のエピソードや成り立ちを知る

### ◆元気の出る曲、前向きな曲の合唱

**ねらい** 発散、感動、協調

感動する曲や勇気がでる前向きな曲を合唱する

## 図工

### ◆季節の花の絵

**ねらい** リラクゼーション、気分転換

季節の花を明るい色で描いて展示する

### ◆グループで行う

**ねらい** 協調、共有

グループでテーマを決め、全員で大きな創作を行う

## 震災後の授業

「とにかく面白い授業を！」と、工夫をこらしていた瀧ノ内先生に、震災後にどんな授業をしていたのか、うかがいました。

### ◆3分間100字作文

震災前から行っていた、テーマを決めない「3分間100字作文」を続けました。震災から3カ月過ぎた頃、一人の子どもが「地震の時は本当に怖かった」と書いたのをきっかけに、みんなが震災時のことを発信するようになったのです。みんなの前で発表する子、その発表にコメントする子、話せないけれど作文に書く子……。表現方法は様々でしたが、発信できたことで子どもたちの心が落ち着いていきました。表現したい時に、自由に表現する機会が、毎日あったことがよかったのだと思います。

### ◆保護者と一緒にする宿題

週末に「お父さん、お母さんと一緒に宿題をしよう」と、○×形式のクイズを出題しました。学校と家庭では、態度が全く違うという子どもがいたからです。宿題を出すことで保護者と子どもが一緒に考える時間を意図的に作りだし、保護者に子どもへの反応をみてもらったのです。何かあれば保護者から連絡をもらうようにして、家庭での変化も把握するようにしました。

阪神・淡路大震災を振り返って

### ◆「いつもの先生」で！



兵庫県芦屋市立 宮川小学校 瀧ノ内秀都先生

大事の後は、「特別なことをしなければ！」と気がいがちです。でもそんな時こそ、教師は教師の仕事をするのが大切です。子どもたちにとっては「いつもの先生」であることが一番安心します。子どもの変化をキャッチしたら保護者と連携しながら自分の得意分野を生かした授業を。ただし、子どもの負担になるほど、真面目になりすぎないことです。

### ◆子どもたちに安心感を！



兵庫県芦屋市立 浜風小学校 木下新吾先生

私は4年生の担任時に阪神・淡路大震災に遭いましたが、その後、学年の進級に合わせて受け持ち、学年全体を見渡した上で、卒業までを見届けることができました。震災前後を知る教職員の存在が一人でもあれば、「あの先生がまたいる！」という子どもたちの安心感につながります。こうした環境面での配慮も必要だと思います。

## 社会

### ◆危機管理

**ねらい** 感謝、安心、尊敬

水・電気・ガス・ゴミ処理も含めたライフラインなどの災害復旧に関わる人たちの仕事内容を調べ、理解を深める

### ◆学校周辺地図の制作

**ねらい** 危機管理

学校の周りの様子を観察し、みんなで話し合いながら手作りの地図を制作する

### ◆良いこと新聞の作成

**ねらい** 安心、安全、希望、

**ポジティブシンキング**

普段の生活の中で起こった小さな幸せ感、いいなと感じたことについて、グループごとに新聞を作成する



## 体育

### ◆顔リラクゼーション（百面相）

**ねらい** 楽しみ、

**リラクゼーション、共有**

顔の筋肉を緊張させ、ゆるめて友達同士で観察する

### ◆腹式呼吸法

**ねらい** リラクゼーション

イメージを利用して子ども版腹式呼吸を行う

### ◆避難経路の

**ウォーキング、ランニング**

**ねらい** 発散、安全、防災教育

避難コースに慣れるために、そのコースに沿ってウォーキングやランニングを行う



# ストレス マネジメント法の 授業を体験してみよう

普段の生活でイライラするのはどんな時ですか？  
少し周りの人と話し合ってみてください。



こんにちは、富永良喜です。  
今日は「ストレスに  
どう対処するか？」を、  
子どもたちにどうやって  
案内するかをお伝えします。

兵庫教育大学  
富永良喜 教授

成績が上がらない時



試合で負けた時



友達とケンカした時



怒られた時



実は、こういうイライラには、名前が付いています。みなさんは「ストレス」という言葉を聞いたことがありますよね？  
そのストレスのもとになるものを、「ストレスサ」と言います。「勉強がうまくいかない」や「ケンカしてしまっただ」がストレスサです。  
そんなストレスサがもとで出るのが「ストレス反応」です。つまり「イライラする」というのが、ストレス反応ということですね。このイライラに対する工夫が、とても大事です。それを「ストレス対処」と言います。

相談する



自分の気持ちを他の人に聞いてもらおうと、心が楽になるね。

お風呂で叫ぶ



近所への迷惑も考えないと。場所を選べばいいかもしれないね。

ゲームをする



ゲームは目が疲れるから、余計にストレスになるかもしれないよ。

問題に立ち向かう



目の前の問題から逃げないで、できることを一生懸命やると、心が落ち着き、自信が出てくるね。

ストレス反応した時、みんなはどうするかな？



お菓子をたくさん食べる



お菓子の食べ過ぎは気持ちが悪くなるから、余計にストレスになるかもしれないよ。

深呼吸する



体が楽になるし、気持ちが落ち着くよ。

我慢する



相手を気遣う気持ちは大事だよ。でも、我慢のしすぎはしんどくなってしまうから、ほどほどにしたいですね。

悪口を言う



やった時は、少しスッとすることもいいけど、後で傷つくのではないかな。しない方がよいよね。

みんなそれぞれ、自分なりのストレス対処法を持っていることがわかりましたね。ところが、「自分ではストレス解消のつもり」で行っていても、心が不安定になったり、体が疲れてしまったりする方は、逆効果になるので気をつけなければいけません。  
本来、ストレス対処法の中で最もストレス反応を下げる方法は、問題に立ち向かうことです。試合には練習、テストには勉強、ケンカには仲直りが一番ですが、すぐに立ち向かう気になれないという時は、深呼吸するだけでも気持ちや身体が落ち着き、「リラックス」の状態になります。  
自分なりのリラックス方法を持てるといいですね。





それでは、実際に私がおすすめする「リラクセーション」を体験して、気持ちや体の変化を感じてみましょう。

みんな、頑張るときの姿勢といわれると、どんな姿勢になりますか？



背筋がピンとする↓良い姿勢ですね。頑張るぞ！と思う時、背筋がピンとしますね。でも、その姿勢を長く続けると、10分くらいで疲れてしまうかもしれません。では、一度、楽にしましょう。ダラーンとしますね。

楽な姿勢と頑張る姿勢の違いがわかりましたか？

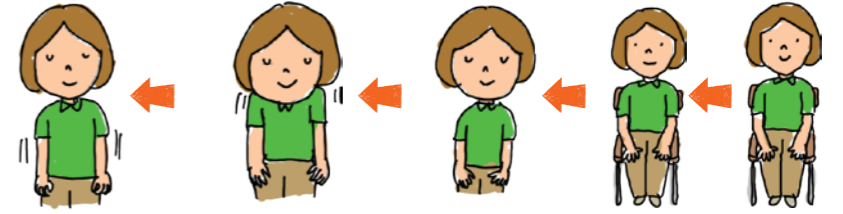
それでは、ここからが大切です。物事に取り組む時に、長く頑張れたらよいですね。まずは、長く頑張る姿勢を作ってみましょう。

### 構えの姿勢の作り方



背もたれからこぶし1個分背中を離して、少し深く座ります。  
両腕は、力を抜いて横に垂らします。  
空から一本の糸でつるされているイメージで座ってください。  
腰が痛い人は、腰をそりすぎていませんか？  
では、一度、楽な姿勢になりましょう。

### セルフリラクセーション



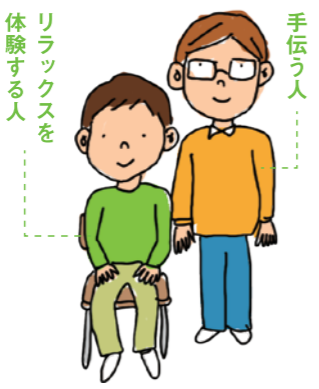
あ、本当だ。気持ちがよくなる。

さっきやった、構えの姿勢をとりましょう。  
操り人形のように、糸でつるされているイメージで座ってください。  
嫌でなければ目を閉じてみましょう。さらに集中できるかもしれません。  
耳につくくらいまで、いっばいに肩を上げてみましょう。肩以外に力が入っていないか確かめてください。両ひじや指先に力が入っていませんか？ 顔はスマイルですよ。  
肩の力を抜きましょう。はい、ストーン……。抜いた後も、すぐに動かさず、肩の感じの違いを感じてみましょう（不安な子どもは、目を閉じるのが難しいことがあります。無理に目を閉じる必要はありません）。すると、もともと力が抜けることがあります。※肩上げを二〜三度繰り返す。

### ペアリラクセーション



次は、友達の力を借りたと思います。



手伝う人  
リラクセスを体験する人

男子同士・女子同士二人でペアになってください。いすに座っている人がリラクセスを体験する人、後ろに立つ人が手伝う人です。



前の人

「構えの姿勢」をとりましょう。後ろの人は、前の人の上に手を置きます。手を置く時、赤ちゃんや卵を包むように、肩の端っこを包んでふわっとやさしく置きましょう。



後ろの人

後ろの人の温かさが感じられるかな？ その手の重みを感じたまま肩を上げてください。



左右の肩の高さが違うなど、気づいたことがあったら、言っても大事です。

前の人

肩を上げたら、前の方は肩の力を抜いてみましょう。

後ろの人

そのまま手をおいていてください。



後ろの人

前の人肩の力が抜ける感じがわかったら、「抜けたね」と教えてあげてください。そして、ゆっくり手を肩から離します。

前の人

置いてもらっていた手が離れた後、どんな感じですか？ 離れた後の変化について、二人で話し合ってみてください。



手を置いてもらって、心が楽になるね。

応援してもらって、温かい気持ちになるね。自分一人でわからない時や困った時は、友達の力を借りたらいいよ。

# 今すぐ役立つ おすすめ情報!!

「元気になる」「安心できる」「癒される」をキーワードに、編集部おすすめの本やウェブサイト、アーティ情報をご紹介します。すぐに授業で活用できる本もピックアップしました。

## 元気をもらおうこと ほつとすることも ストレスマネジメント

今回は、現場ですぐに使える実用本と、勇気や知恵を与えてくれる、そしてホッと心を和ませてくれる本をご紹介します。

ストレスマネジメント教育の実践・研究者たちが共同執筆し、製作期間わずか2カ月で発刊された『日常生活・災害ストレスマネジメント教育』。心のケアについての情報は、この1冊に集約されています。そして、「防災の備えをどうするか?」を考える時、参考にしたいのが『地震イツモノート』。震災後、文庫版の売り上げが10万部を突破したのもうなずける内容です。さらに、被災地で本を配布した経験のある本屋さん

「ママ、あのね。子どものつぶやき」は肩の力を抜きたい時に。思わずにんまりしてしまうものから、ハッとさせられるものまで、改めて子どもの感性に驚かされます。読んで、笑って、行動して、考えて。自分なりのストレスマネジメントのヒントを見つけてください。



**日常生活・災害  
ストレス  
マネジメント教育  
～教師とカウンセラーの  
ためのガイドブック～**  
竹中晃二・富永良喜共編  
(サンライフ企画)

ストレスマネジメントの基礎知識と、それをどのように学校教育に取り入れていくかを具体的に説明した、先生やスクールカウンセラーのための1冊。阪神・淡路大震災をはじめ、過去の大災害や事件において、子どもにどのような心のケアを行ったかがまとめられています。今日から教室で活用できる情報が満載です。



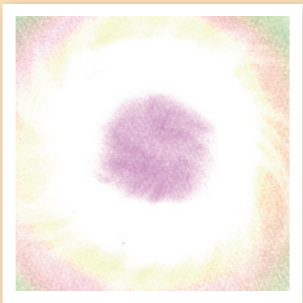
本の中は...

イラスト付き解説で、わかりやすい誌面

### 地震イツモノート

地震イツモプロジェクト編(木楽舎)

阪神・淡路大震災の被災者167人の体験や考えをもとに、その声を一人でも多くの人に役立ててほしいとまとめられた防災マニュアル本。防災を生活の一部としてとらえ、心構えしておくことの大切さがわかります。



取材者が実際に描いたパステルシャインアート。P.5の背景は、被災地の子どもが描いたもの。

### なぜ、はたらくのか

加藤寿賀(主婦の友社)

関東大震災、東京大空襲を体験し、数々の逆境も明るく乗り越えて、94歳まで現役の理容師として働き続けた女性。何があっても克服してきた彼女の生き方を綴った本書を読めば、復興への力がわいてきます。

### 覚悟の決め方

河野太通/南直哉/釈徹宗/田口弘願/小池龍之介(扶桑社)

「大震災後をどう生きるのか?」。流派の違う僧侶5人が、仏道の見地から語る「日常を生きる哲学」。優しくも厳しい15の言葉は、自分に無力感を感じる人への心の処方箋となるはず。



直感で色を選んで、自由自在に表現。誰もが夢中になっています。

### パステル シャインアートで 被災地を元気に!

被災地でもパステルシャインアートを活用した取り組みが報告されています。「おばあさん達が、ゲラゲラ笑いながら絵を描いていたことが印象的」と話すのは、宮城県石巻市立女子高等学校の米谷美幸先生。休日避難所を訪れ、3カ月間、被災者と一緒に絵を描いてきました。「上手い下手は関係なく、ありのままの自分を簡単に表現できることがこの手法の良さ」アートの力で周りの人たちを元氣にしたいと、精力的に活動しています。

### こちらもおすすめ!

パステルシャインアートの創設者・江村信一さんがその技法と楽しさを紹介する本「世界で一番簡単な10分間アート(仮題)」が、10月末に発売の予定です。

### 突撃 レポート

### 描いて「心のケア」 パステル シャインアート

阪神大震災の年に生まれ、癒しのアートとして広がっているパステルシャインアート。「誰でも10分あれば完成度の高い絵を描くことができる」という簡単さと、光に包まれたようなやわらかい色合いが特徴で、さまざまな場面で「心のケア」にも活用されています。描き方は、いたって簡単。好きな色のパステルを白い紙の上に削り、ティッシュや指などで画用紙に伸ばすだけ。単純に円を描くだけでも立派にひとつの作品となり、達成感が味わえるのも魅力です。フレームに入れれば記念にもなります。



## 先生たちにお知らせ おすすめウェブサイト!

子どもたちへの心のケアや防災教育について、参考になるウェブサイトを集めました。授業などにご活用ください。

- 東北地方太平洋沖地震と心のケア  
日本心理臨床学会・支援活動委員会  
<http://heart311.web.fc2.com>
- 地震イツモ.com  
<http://www.jishin-itsumo.com>
- サイコロジカル・ファーストエイド  
実施の手引き 第2版  
兵庫県こころのケアセンター  
<http://www.j-hits.org/psychological>
- こころの窓口  
文部科学省  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/saigaijohou/syousai/1303886](http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/syousai/1303886)
- イザ!カエルキャラバン!  
<http://kaerulab.exblog.jp>
- 東北地方太平洋沖地震  
メンタルヘルス情報サイト  
国立精神・神経医療研究センター  
<http://www.ncnp.go.jp/>
- 防災ハンドブック  
日本自閉症協会  
<http://www.autism.or.jp/bousai>

## 「社会応援ネットワーク」で被災地を、日本を元気にしませんか？

私たち「社会応援ネットワーク」のモットーは、「応援したい人と支援を必要とする人をつなぐリーダー」になることです。被災地の復興を支援したい、地域を元気にしたい、日本を元気にしたい、そんな共通の志を持った人と人、地域と地域、組織と組織をつなぐ架け橋となるべく活動しています。設立して半年にも満たない当団体ですが、「がっこう応援便り」の発行・配布のほか、ドキュメンタリー映像の企画・制作など精力的に活動を行っています。



社会応援ネットワークの趣旨に賛同する人なら誰でも、お申し込みできます。

### 【会員区分】

- 正会員  
(個人)入会金 30,000円 年会費12,000円/年
- 賛助会員  
(個人)入会金なし、年会費 1口、6,000円/年  
(団体)入会金なし、年会費 1口、50,000円/年

### 【入会方法】

- 正会員  
理事会の承認を受ける必要がありますので、下記連絡先までお問い合わせください。  
(社会応援ネットワーク) ☎03-6861-3739
- 賛助会員  
ゆうちょ銀行で所定の払込取扱票に氏名、住所、電話番号をご記入のうえ、下記の口座まで年会費を一括でお振り込みください。

### 【会費振込口座】

ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキウ)店  
当座預金 0616804  
一般社団法人 社会応援ネットワーク

また、上記の口座で寄付を受け付けています。いただいた寄付金は「がっこう応援便り」の製作費など、当団体の活動費として活用させていただきます。



## みなさまの声を お寄せください！

澤穂希さんのメッセージを読んだ感想や、「がっこう応援便り」の内容について、みなさまのご意見やご要望をお聞かせください。寄せられた声は、ウェブサイトや次号の誌面、会報誌などで紹介し、次号の編集内容の参考とさせていただきます。はがき、FAX、メール（携帯電話からも可）で、①住所②名前③職業④今号の感想⑤次号で取り上げてほしいトピックを明記のうえ、下記までどしどしお寄せください。

### はがきあて先

〒103-0013  
東京都中央区日本橋人形町1-12-11-3407  
一般社団法人 社会応援ネットワーク

### メールの送り先

info@shakai-ouen.com

### FAXの送り先

03-5645-2844

### ホームページ

http://www.shakai-ouen.com

### 読者プレゼント

声をお寄せいただいた方の中から抽選で、澤穂希さんの直筆サインを1名にプレゼントします。ふるってご応募ください。



無限の夢へ、走りだそう。



# RING!RING! プロジェクト

競輪の補助事業

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで

RING!RING!

検索





## 協力

- ◆ 日本心理臨床学会・支援活動委員会
- ◆ 東日本大震災心理支援センター
- ◆ 東京臨床心理士会
- ◆ 宮城県石巻市立女子高等学校 文化創造部
- ◆ 日本パステルシャインアート協会
- ◆ 「子ども応援便り」編集部
- ◆ 株式会社サンライフ企画
- ◆ 兵庫教育大学 富永良喜教授
- ◆ 早稲田大学 竹中晃二教授

## 発行

一般社団法人 社会応援ネットワーク

## 連絡先

一般社団法人 社会応援ネットワーク内  
「がっこう応援便り」編集部

東京都中央区日本橋人形町1-12-11-3407  
TEL: 03-6861-3739 FAX: 03-5645-2844

Eメール [info@shakai-ouen.com](mailto:info@shakai-ouen.com)

ホームページ [www.shakai-ouen.com](http://www.shakai-ouen.com)

この冊子は競輪の補助金  
を受けて製作しました。

**KEIRIN** 



社会応援  
ネットワーク